



立西巻き

[校長先生つぶやき、つぶやく（校長だより）]

尼崎市立立花西小学校
校長 笠井美香
2025. 9. 16 (火)
No.30

手羽先120はいきましたね。

8月29日（金）午後。小さなお客様が校長室にやってきました。夏休み前にも、彼女は校長室を訪れました。以前から疑問や何とか解決しないのかなあと思っていた課題に対しての質問を私に尋ねてきたのです。その彼女が、夏休みにその課題に対し、調査を行い途中結果を報告に来てくれたのです。お話は、興味深く、話に花が咲いていました。すると、またトントントンと校長室扉をノックする音がします。別の小さな2人のお客様が同じく報告に来てくれたのです。彼女達の報告は、立花西小学校区を歩き回って作成した謎解きについてでした。お互いの報告を聞き合って、お互いに感心したところです。



校区のことを知る謎解き

今年の夏休み明けのこと。とても驚いたのは、子ども達の夏休み作品の多さとその内容でした。立花西小学校は、夏休みに作る制作やポスター、書道、研究等は自由課題としています。それでも、たくさんの子ども達が作品を提出しています。それは、教室の棚で飾られるのですがせっかくだから、全校生が見ることができたらよいのにということで、

今年度は、二つの教室に集めて、どの学年の児童の作品も鑑賞できるようにしました。



子どもの疑問解決や挑戦は、長い休みだからこそできることもあります。学校がお休みになり、お家の人と過ごす夏。たくさん話し、ゆっくり過ごす。お出かけをして思い出が残る。こうして、絵や作品作りや研究をする。きっと、心に残る多くの出来事がこの夏もおきたことでしょう。心の糧となって、2学期もがんばってくれることと思います。さて、題名にある「手羽先120」ですが…。我が子の学校では、作品作りは絶対にする宿題でしたので、毎年、中学3年生になるまで、親も悩み続けた思い出ともなっています。「なんでこんな宿題があるんだ～、(´Д｀)ﾌﾟﾝﾌﾟﾝ」と職業教師ながらに思うこともありましたが、今となっては、子どもと一緒にやってよかったなと思ひ返します。海に行って、貝殻をひろい、100均のコルクボードに貝殻を張り付けて、写真立てにする。手作りパチンコをつくる。犬は飼えないけど、犬のぬいぐるみを作る。自立してほしいから、ホットケーキを作って、そのレシピをつくる。本人の思いと、こちらの手間と時間の都合に合わせ、何とかしてきましたね…。息子は、夏休み最終日近くまで、宿題に取り組み、親をいらつかせる大食いのカツオくんタイプでした。たった一つの「手羽先の骨格標本」をつくるため手羽先を家族全員で食べまくり、ようやく、手羽先骨格標本を完成させたことは、永遠に忘れません。その後、理科の創意工夫展で表彰され、今でも手羽先を見る度、たくさん食べた甲斐があったと思ひ出します。私自身はもう、作品作りを子どもとすることはありませんが、来年の立西っ子作品を楽しみにしています。